19　教科等専門　［養護教諭］　（その１）　Ｒ６採用選考

1　次の問いに答えなさい。

（1）次の文は学校保健安全法施行規則の一部である。（　①　）～（　⑩　）に当てはまる語句を答えなさい。

第二十条　令第七条の規定による報告は、次の事項を記載した（　①　）をもつてするものとする。

一　学校の名称

二　出席を停止させた（　②　）及び（　③　）

三　出席停止を指示した年月日

四　出席を停止させた児童生徒等の（　④　）人員数

五　その他参考となる事項

第二十一条（　⑤　）は、学校内において、感染症にかかつており、又はかかつている疑いがある（　⑥　）等を発見した場合において、必要と認めるときは、（　⑦　）に診断させ、法第（　⑧　）条の規定による出席停止の指示をするほか、消毒その他適当な処置をするものとする。

2　（　⑤　）は、学校内に感染症の病毒に汚染し、又は汚染した疑いがある物件があるときは、消毒その他適当な処置をするものとする。

3　学校においては、その附近において、第一種又は第二種の感染症が発生したときは、その（　⑨　）により適当な（　⑩　）を行うものとする。

（2）次の文は、中学校学習指導要領（平成29年7月告示）解説「保健体育編」の一部である。次の空欄に適する語句を答えなさい。

（オ）感染症の予防

⑦感染症の予防

感染症は，病原体が環境を通じて（　①　）へ感染することで起こる疾病であり，適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることを，例えば，（　②　），コレラ，ノロウイルスによる感染性胃腸炎，麻疹，風疹などを適宜取り上げ理解できるようにする。～　（中略）　～

感染症を予防するには，消毒や殺菌等により（　③　）をなくすこと，周囲の環境を衛生的に保つことにより感染経路を（　④　）すること，（　⑤　）を良好にしたり，（　⑥　）の実施により免疫を付けたりするなど身体の（　⑦　）を高めることが有効であることを理解できるようにする。また，感染症にかかった場合は，疾病から回復することはもちろん，周囲に感染を広げないためにも，できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを理解できるようにする。

㋑エイズ及び性感染症の予防

エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題になっていることから，それらの疾病概念や感染経路について理解できるようにする。また，感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解できるようにする。例えば，エイズの病原体は（　⑧　）ウイルス（HIV）であり，その主な感染経路は（　⑨　）であることから，感染を予防するには（　⑨　）をしないこと，コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。

なお，指導に当たっては，発達の段階を踏まえること，学校全体で共通理解を図ること，（　⑩　）の理解を得ることなどに配慮することが大切である。

（3）新型コロナウイルス感染症について、次の問題に答えなさい。

①感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）上の位置付けが変更されたことを受け、学校保健安全法施行規則に規定する学校において予防すべき感染症の種類はどのように改正となったか答えなさい。

②学校保健安全法施行規則上における出席停止の期間の基準を答えなさい。

2　「子供の運動器の健康－学校における運動器検診の手引き－」（日本学校保健会）より、運動器検診について、次の問いに答えなさい。

（１）次の文①～④は、脊柱側わん症のスクリーニングにおける４つのチェックポイントである。（　A　）～（　F　）に当てはまる語句を答えなさい。

①　（　　A　　）に左右差がある。

②　（　　B　　）に左右差がある。

③　（　　C　　）に左右差がある。

④　前屈した（　　D　　）に左右差があり、（　　E　　）もしくは（　　F　　）がみられる。

（２）次の文①～⑥は、小児期の主な運動器疾患をまとめたものである。①～⑥に当てはまる疾患名を答えなさい。

①腰椎椎弓の疲労骨折で、疲労骨折が骨癒合せずに偽関節になった状態も含む。青少年期の過度のスポーツが原因と考えられることから、青少年の腰痛の原因疾患の一つとして重要である。多くは、第５腰椎に発生する。

②発育期に大腿骨近位骨端部（骨端核）が阻血性壊死をきたす疾患である。大腿骨の陥没変形、扁平巨大化などの変形を生じる。年齢は６～７歳くらいが多く、また男子に多い。

③脛骨粗面の骨端で、ダッシュやジャンプにより牽引負荷が繰り返し加わることで、脛骨粗面の痛みとして発症する。運動制限により症状は軽快する。

④膝蓋骨から起始し、脛骨に付着する腱・腱付着部の炎症により痛みを生じる。ジャンプなどの運動の繰り返しで負担がかかり炎症が起きる。

⑤脛骨の骨膜が炎症を生じ、痛みを出す疾患で、ランニングやジャンプを繰り返すことでヒラメ筋の付着部で炎症を生じる。

⑥踵骨の骨端症で、踵の骨端は解剖学的に血流障害が起こりやすく、アキレス腱の牽引や、荷重の負荷が加わることにより骨端部に痛みが生じる。

（３）児童生徒等の健康診断時の脱衣を伴う検査において、児童生徒等のプライバシーの保護や男女差等への配慮を考慮し、どのように工夫して健康診断を実施するか３つ答えなさい。

3　学校保健委員会について、次の問いに答えなさい。

（１）次の文章は、「学校保健の課題とその対応」（日本学校保健会）より、学校保健委員会について書かれたものである。（　①　）～（　⑧　）に当てはまる語句を答えなさい。

学校保健委員会は、学校における健康の課題を研究協議し、（　①　）を推進する組織である。したがって、様々な健康課題に対処するため、（　②　）、（　③　）等の教育力を充実する観点から、学校と（　②　）、（　③　）を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させることが大切である。学校保健委員会については、昭和 33 年の学校保健法等の施行に伴う文部省の通知において、（　④　）に規定すべき事項として位置付けられ、その後の各答申等においても設置の促進と運営の強化について提言されてきた。

学校保健委員会が、学校保健活動の中心として機能するだけでなく、学校、（　②　）、（　③　）の関係機関等の連携による効果的な保健活動につながるよう、その（　⑤　）を図っていくことが大切である。そのためには、（　⑥　）が人、設備・用具、経費、情報などの各要素を調達・活用し、（　⑦　）、（　⑧　）を発揮することが期待される。

（２）学校保健委員会においては、議題選びが重要である。議題を選ぶ際のポイントを３つ答えなさい。

（３）児童保健委員会が 11 月 8 日のいい歯の日に向けて、「歯のけんこうキャンペーン」の取り組みをすることになった。

保健委員会の活動として、どのような取り組みができるか、また養護教諭として、より効果的な実践にしていくために、事後活動としてキャンペーン後にどのような働きかけができるかそれぞれ３つ答えなさい。

4　「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」（文部科学省）より、健康観察について、次の問いに答えなさい。

（1）　下の表は、学校における健康観察の機会についてまとめたものである。（　①　）～（　⑤　）に当てはまる語句を答えなさい。

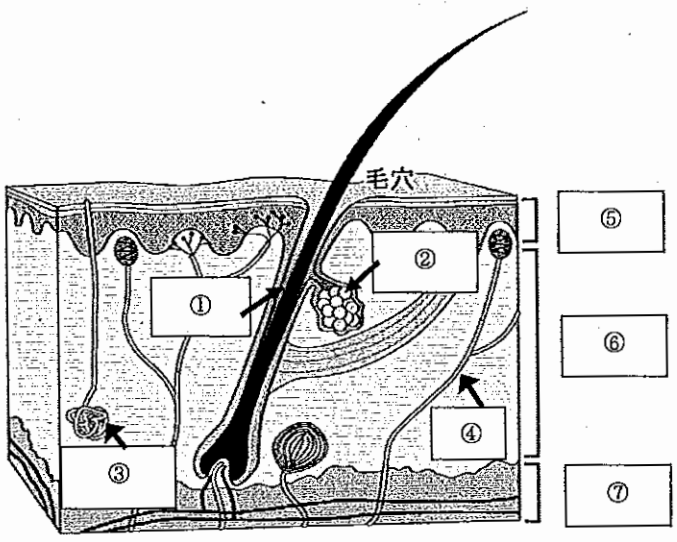
	時　間	主な実施者	主な視点
学校における健康観察	朝や帰りの会	学級担任（ﾎｰﾑﾙｰﾑ担任）	登校の（　①　）・形態、朝夕の健康観察での（　②　）・症状
	授業中	学級担任及び教科担任等	心身の状況、友人・教員との人間関係、授業の参加態度
	（　③　）	教職員	友人関係、過ごし方
	給食（昼食）時間	学級担任（ﾎｰﾑﾙｰﾑ担任）	食事中の会話・（　④　）、食事摂取量
	保健室来室時	養護教諭	心身の状況、（　⑤　）
	部活動中	部活動担当職員	参加態度、部活動での人間関係、体調
	学校行事	教職員	参加態度、心身の状況、人間関係
	放課後	教職員	友人関係、下校の（　①　）・形態

（2）次の①～⑨は、健康観察記録の活用方法についてまとめたものである。（　A　）～（　E　）に当てはまる語句を答えなさい。

①　感染症及び（　A　）などの集団発生の早期発見に役立てる。
②　いじめ、不登校傾向、（　B　）等の早期発見に役立てる。
③　個々及び集団の健康課題を把握する資料とする。
④　（　C　）・保健指導につなげる。
⑤　健康診断の資料とする。
⑥　（　D　）時や保護者面談時の資料とする。
⑦　児童生徒理解のための資料とする。
⑧　休業中の保健指導計画等の参考資料とする。
⑨　（　E　）立案の参考資料とする。等

5　次の問題に答えなさい。

（1）次の図は、皮膚の構造を示したものである。図中の①～⑦の名称を答えなさい。



（「先生のための分解できるポスター集 Disc2　皮膚の解剖図」（InterPress）から抜粋）

（２）次の①～⑦は、熱傷の応急処置についてまとめたものである。正しいものには○、誤っているものには×を記入し、正しい応急処置の仕方を答えなさい。

①皮膚が赤くなって痛み、水ぶくれができた熱傷は、症状と創の特徴から、熱傷の深度は第Ⅱ度と判断する。

②患部に直接保冷剤を当てて冷却する。

③皮膚への損傷が深くなることを防ぐために、冷却する。

④患部が衣服等で隠れている部分である場合は、必ず衣服を脱がして冷却する。

⑤患部に水疱（水ぶくれ）がある場合には、できるだけ水疱から水を抜いて冷却する。

⑥細菌等の感染を防ぐため、熱傷面に抗生物質入りの軟膏を塗布する。

⑦衣服の上から薬品がかかった場合、衣服を脱がし、すぐに大量の水で洗浄する。

（３）気道熱傷が疑われる症状・所見を３つ答えなさい。

6　がん教育について次の問いに答えなさい。

（１）次の文章は、「外部講師を活用したがん教育ガイドライン　平成28年４月（令和３年３月一部改訂）文部科学省」を一部抜粋したものである。文中の（　①　）～（　⑧　）に当てはまる語句を下の語群から選び、記号で答えなさい。

（２）外部講師を活用したがん教育において配慮が必要な情報

ア　「がんは不治の病である」など（　①　）に基づかない情報
がんは不治の病だから、治療しても無駄であるなど（　①　）に基づかない情報は不適切である。

イ　「がんは簡単に治せる」などの誤解を与える可能性のある情報
早期がんに関しては（　②　）割近く治るといわれるが、がんはいまだ日本人の死因の第一位であり、がんの種類や５年生存率などを丁寧に（　③　）する必要がある。

～　中略　～

エ　「がんは他人にうつる病気」等の表現が使われている情報
（　④　）・ウイルスが原因となるがんもあるが、医学的根拠に基づいた誤解の生じない表現を使用する。

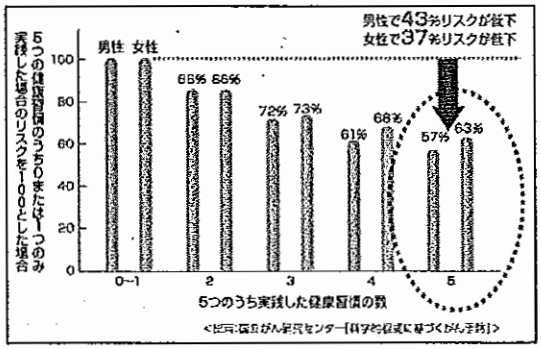
オ　がん教育の実施に当たっては、児童生徒の発達段階や（　⑤　）の状況を踏まえた（　⑥　）が求められる。なお、他の疾病同様、これまで学校等が蓄積してきた事例を生かすことが望まれる。

カ　講師が（　⑦　）に話すのみではなく、児童生徒が（　⑧　）に考えたり、活動したりする時間を確保するなどの工夫が望ましい。

ア　7	イ　実態	ウ　8	エ　主体的	オ　一方的
カ　情報提供	キ　科学的根拠	ク　細菌	ケ　個別	コ　説明
サ　積極的	シ　9	ス　合理的な配慮	セ　飛沫	ソ　家庭
タ　適切な配慮	チ　遺伝	ツ　伝達		

（２）がん教育の実施に当たり、配慮が必要な児童生徒がいると事前に把握した場合、授業を展開する上で配慮すべき対応例を３つ答えなさい。

（３）右の図は、福井県版「がん教育リーフレット（中・高校生版）」の一部である。５つの生活習慣を実践し続けることでがんになるリスクはほぼ半減すると言われているが、がんの予防について望ましい５つの健康習慣を答えなさい。



7　次の健康相談に関する問いに答えなさい。

（1）中学３年生の男子の A さんが体調不良を訴えて保健室に来室した。「毎日塾で帰りが遅く、その後、宿題をすると１２時をすぎてしまう。」「寝る前に動画を見ることがやめられず、睡眠不足の状態が続いている。」と養護教諭が相談を受けた。

①この健康問題を改善するための、Ａさんへの保健指導の目標を２つ答えなさい。

②保健指導の目標を達成するために、養護教諭として行う具体的な指導内容について簡潔に３つ答えなさい。

（2）高校２年生の女子のＢさんが貧血を起こして保健室に来室した。陸上部に所属し、成績はトップクラスでまじめな性格である。長距離のタイムがあがらないのは自分の体型のせい（当時の肥満度－４．１）だと思い込み、夕食をぬくダイエットを続けたところ、半年間で約８ｋｇの体重減少がみられた。（現在の肥満度－１９．５）

①B さんの課題背景の把握をするために養護教諭としてどのような情報が必要か。３つ答えなさい。

②B さんの支援のために養護教諭として、誰とどのような働きかけをするとよいか。簡潔に３つ答えなさい。

19　教科等専門　　[養護教諭]　解答例　(その1)

〈配点〉

1 (1) 2点×10＝20点　(2) 2点×10＝20点　(3) 2点×2＝4点
2 (1) 2点×6＝12点　(2) 2点×6＝12点　(3) 2点×3＝6点
3 (1) 2点×8＝16点　(2) 2点×3＝　6点　(3) 1点×6＝6点
4 (1) 2点×5＝10点　(2) 2点×5＝10点
5 (1) 2点×7＝14点　(2) 1点×7＝　7点・2点×4＝8点　(3) 2点×3＝6点
6 (1) 1点×8＝　8点　(2) 2点×3＝　6点　(3) 2点×5＝10点
7 (1) ①2点×2＝4点　(1) ②2点×3＝6点　(2) ①1点×3＝3点　(2) ②2点×3＝6点

計200点

1	(1)	①	書面	②	理由	③	期間	④	学年別	⑤	校長
		⑥	児童生徒	⑦	学校医	⑧	十九	⑨	状況	⑩	清潔方法
	(2)	①	主体	②	結核	③	発生源	④	遮断	⑤	栄養状態
		⑥	予防接種	⑦	抵抗力	⑧	ヒト免疫不全	⑨	性的接触	⑩	保護者
	(3)	①	第一種から第二種に変更になった。								
		②	発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで								

2	(1)	A	肩の高さ	B	ウエストライン	C	肩甲骨の位置
		D	背面の高さ	E	肋骨隆起	F	腰部隆起
	(2)	①	腰椎分離症	②	ペルテス病	③	オズグッド病（オスグッド病）
		④	ジャンパー膝（膝蓋腱炎）	⑤	シンスプリント	⑥	シーヴァー病（セヴァー病）
	(3)	・検査時の服装については、事前に学校医と共通認識を図り、検査を受けやすい服装で受ける。					
		・ついたて（囲い）やカーテン等の配慮を工夫し、個別の診察スペースを確保する。					
		・特に配慮が必要な児童生徒等に対しては、検査の時間を他の児童生徒等とずらすなど、個別に対応する。　等					

3	(1)	①	健康づくり	②	家庭	③	地域	④	学校保健計画
		⑤	活性化	⑥	保健主事	⑦	企画力	⑧	リーダーシップ
	(2)	・自校の健康課題や緊急の健康課題を議題にする。							
		・家庭や地域に連なる健康問題を議題にする。							
		・学校と家庭の役割が明確になり、実践の手立てがイメージできるような議題にする。　等							
	(3)	取組内容	・アンケートや歯科検診の結果をグラフにする。(実態調査)						
			・歯みがき名人コンテスト　・歯みがきがんばりカードを作成する						
			・劇（集会発表）　・歯ブラシチェックをする　等						
		事後活動	・保護者へのおたよりを作成し、活動内容を紹介する。						
			・掲示物を作り、歯の健康に対する意識を継続させる。						
			・園児への劇発表や歯みがきソングなど、委員会の児童が主体的に活動に取り組めるよう働きかける。　等						

4	(1)	①	時間帯	②	表情	③	休憩時間
		④	食欲	⑤	来室頻度		
	(2)	A	食中毒	B	虐待	C	健康相談
		D	家庭訪問	E	学校保健計画		

5	(1)	①	毛包	②	皮脂腺	③	汗腺（エクリン腺）	④	神経	
		⑤	表皮	⑥	真皮	⑦	皮下組織			
	(2)	①	○			②	×	患部に直接保冷剤を当てずに冷却する		
		③	○			④	×	衣服は脱がさず冷却する		
		⑤	×	水疱は破らず冷却する		⑥	×	軟膏は塗布しない		
		⑦	○							
	(3)	嗄声			咽頭痛			顔面熱傷　　等		
6	(1)	①	キ	②	シ	③	カ	④	ク	
		⑤	ケ	⑥	ス	⑦	オ	⑧	エ	
	(2)	・途中でつらくなったら退席してもよいと事前に伝える。								
		・喪失体験をしている場合は、授業の延期などの配慮も考える。								
		・授業中、授業後に声かけをする。　　等								
	(3)	禁煙する				節酒する				
		食生活を見直す				身体を動かす				
		適正体重を維持する								
7	(1)	①	・寝る直前にデジタル機器を使用すると、睡眠の質が低下することを理解し、寝る直前の利用を控えることができる。							
			・睡眠は心身の疲労を回復するために重要であることを理解する。　　等							
		②	・ブルーライトが体に与える影響や体内時計と睡眠との関係について指導する。							
			・体調不良の原因が何か、本人に聞き取りをしながら考えさせる。							
			・受験に備えて、普段から体調管理が大切であることを指導する。　　等							
	(2)	①	健康観察の結果			健康診断・保健調査票などの健康情報				
			保健室利用状況　　等							
		②	担任・部活動顧問・教育相談担当・管理職などとチームを作り、共通理解を図りながら支援する。							
			学校医と相談し、専門的アドバイスをもらう。							
			保護者に家庭での様子を確認したり、担任に授業中の様子を聞いたりしながら、本人の体調管理（体重管理）を行う。等							